

フロイント産業株式会社  
**STANDARD**  
TOKYO  
(証券コード 6312)

2023年2月期 第2四半期  
決算説明資料

2022年10月25日

 **FREUND**

## 目次

---

- 2023年2月期 第2四半期 連結決算概況 . . . P.02
- 2023年2月期 連結業績・配当予想 . . . P.16
  
- <参考資料> . . . P.19
- <Factsheet> . . . 別紙

2023年2月期 第2四半期  
連結決算概況



## 連結決算サマリー

- 前年同期比増収減益。営業利益、四半期純利益は赤字計上
- 売上高は、機械部門はほぼ前年並み。化成品部門は医薬品添加剤、品質保持剤ともに好調で売上を牽引し、前年比増収
- 機械部門において、米国を中心に部材調達の長期化に伴う出荷遅延、急激なインフレに伴う原材料価格高騰の影響を主因に減益

(単位：百万円)	2022/2月期 上半期	2023/2月期 上半期	前年同期比増減	
				%
売上高	8,048	8,534	+486	+6.0
営業利益	293	△67	△361	-
経常利益	314	32	△282	△ 89.6
四半期純利益	204	△17	△222	-
一株純利益 (円)	12.24	△1.02	△13.26	-
受注高	7,695	8,409	+714	+9.3
受注残高	9,034	14,275	+5,241	+58.0
設備投資	239	329	+89	+37.4
減価償却費	299	275	△23	△ 7.9
研究開発費	308	301	△6	△ 2.2

## 機械部門：概況

- 売上高
  - 全体では前年実績横這い
  - 国内では期ズレ案件発生、また環境面では半導体をはじめとした部材調達の長期化が顕在化したことを受け、前年同期実績を下回る
  - 海外では米国子会社が前年を上回る実績を計上、国内の落込みをカバー
- 営業利益
  - 米国子会社の以下の要因による業績低迷を主因として赤字計上
    - ✓ 米国内の労働需給逼迫やサプライチェーンの混乱による部材調達長期化が継続
    - ✓ 急激なインフレにより原材料価格が高騰、利益率低下
- 受注・受注残高
  - 受注は国内を中心に好調。受注残高は前年実績を大幅に上回り、過去最高を更新

(単位：百万円)	2022/2月期	2023/2月期	前年同期比増減	
	上半期	上半期		%
売上高	5,366	5,420	+54	+1.0
営業利益	210	△ 268	△ 478	-
受注高	7,695	8,409	+714	+9.3
受注残高	9,034	14,275	+5,241	+58.0

## 機械部門：グループ会社別動向（売上・営業利益）

- 単体 : 期ズレ案件発生や海外売上低調により減収減益
- Freund-Vector社 : 前年比増収となるも、出荷遅延や原材料価格高騰等を主因とした利益率低下により、営業損失計上
- フロイント・ターボ社 : 売上は前年比微減ながら、高利益率製品の期ズレに伴う粗利益率低下により、営業損失計上
- Cos.Mec社 : 2Qの売上低迷により固定費を吸収できず営業損失計上となるも、赤字幅は改善

(単位：百万円) ※ グループ会社別は連結調整前	2022/2月期	2023/2月期	前年同期比増減	
	上半期	上半期		%
<b>売上高</b>	<b>5,366</b>	<b>5,420</b>	<b>54</b>	<b>+1.0</b>
単体	2,903	2,468	△ 434	△15.0
Freund-Vector社	1,516	2,165	648	+42.8
フロイント・ターボ社	773	739	△34	△4.4
Cos.Mec社	422	439	+17	+4.1
<b>営業利益</b>	<b>210</b>	<b>△ 268</b>	<b>△ 478</b>	<b>-</b>
単体	250	62	△ 187	△74.9
Freund-Vector社	△ 3	△ 252	△ 248	-
フロイント・ターボ社	56	△ 17	△74	-
Cos.Mec社	△ 61	△ 27	+33	-

## 機械部門：グループ会社別動向（受注高・受注残高）

- 単体 : ジェネリック業界の大型設備投資案件により、受注残高は引続き高水準を維持し、過去最高を更新
- Freund-Vector社 : 大口受注のあった前年対比では、受注高は大きく減少するも、受注残高は依然高い水準を確保
- フロイント・ターボ社 : 化学向けを中心に受注・受注残高ともに好調
- Cos.Mec社 : 受注残高は前年比大幅増、前年度売上を上回る水準確保

(単位：百万円) ※ グループ会社別は連結調整前	2022/2月期	2023/2月期	前年同期比増減	
	上半期	上半期		%
<b>受注高</b>	<b>7,695</b>	<b>8,409</b>	<b>+714</b>	<b>+9.3</b>
単体	3,454	5,294	+1,839	+53.2
Freund-Vector社	3,382	1,993	△1,389	△41.1
フロイント・ターボ社	659	908	+249	+37.9
Cos.Mec社	365	349	△16	△4.5
<b>受注残高</b>	<b>9,034</b>	<b>14,275</b>	<b>+5,241</b>	<b>+58.0</b>
単体	5,212	8,005	+2,793	+53.6
Freund-Vector社	2,838	4,248	+1,410	+49.7
フロイント・ターボ社	518	969	+450	+86.9
Cos.Mec社	619	1,176	+557	+89.9

## 機械部門：地域別動向

- 日本：期ズレ案件発生による影響を主因に減収
- 海外：前年同期比大幅増収、米国法人による中南米及びアジア向けが全体を牽引  
中南米はブラジル向け、アジアでは中国、インド向け案件が寄与

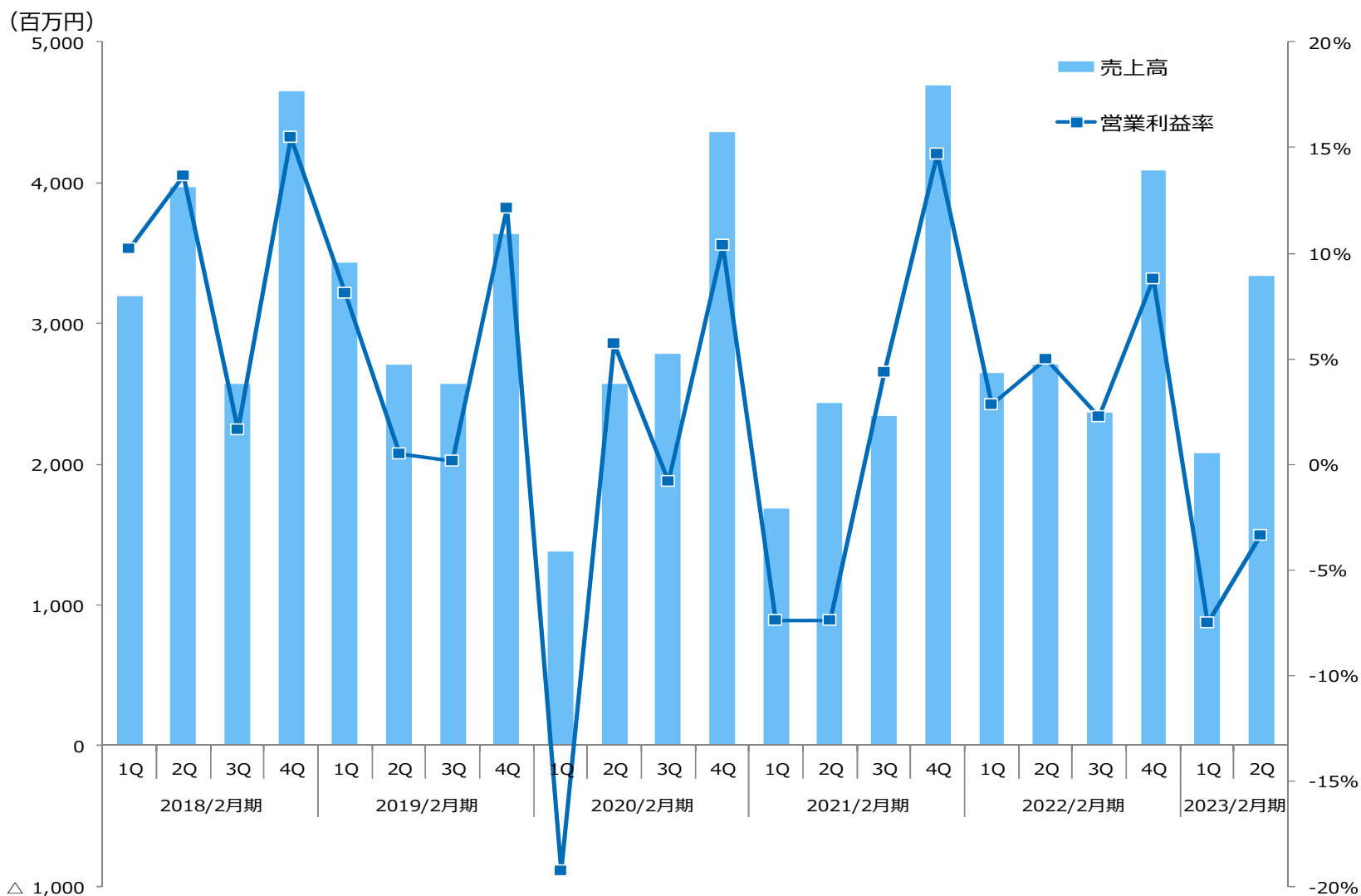
(単位：百万円)	2022/2月期 上半期		2023/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	5,366	+30.1	5,420	+1.0
日本	3,095	+3.5	2,574	△16.8
海外	2,270	+99.8	2,846	+25.4
米国	777	+94.1	677	△12.8
中南米	442	+269.5	717	+62.0
欧州	396	+185.2	275	△30.5
アジア	513	+49.2	1,119	+117.9
その他	139	+5.6	56	△59.8



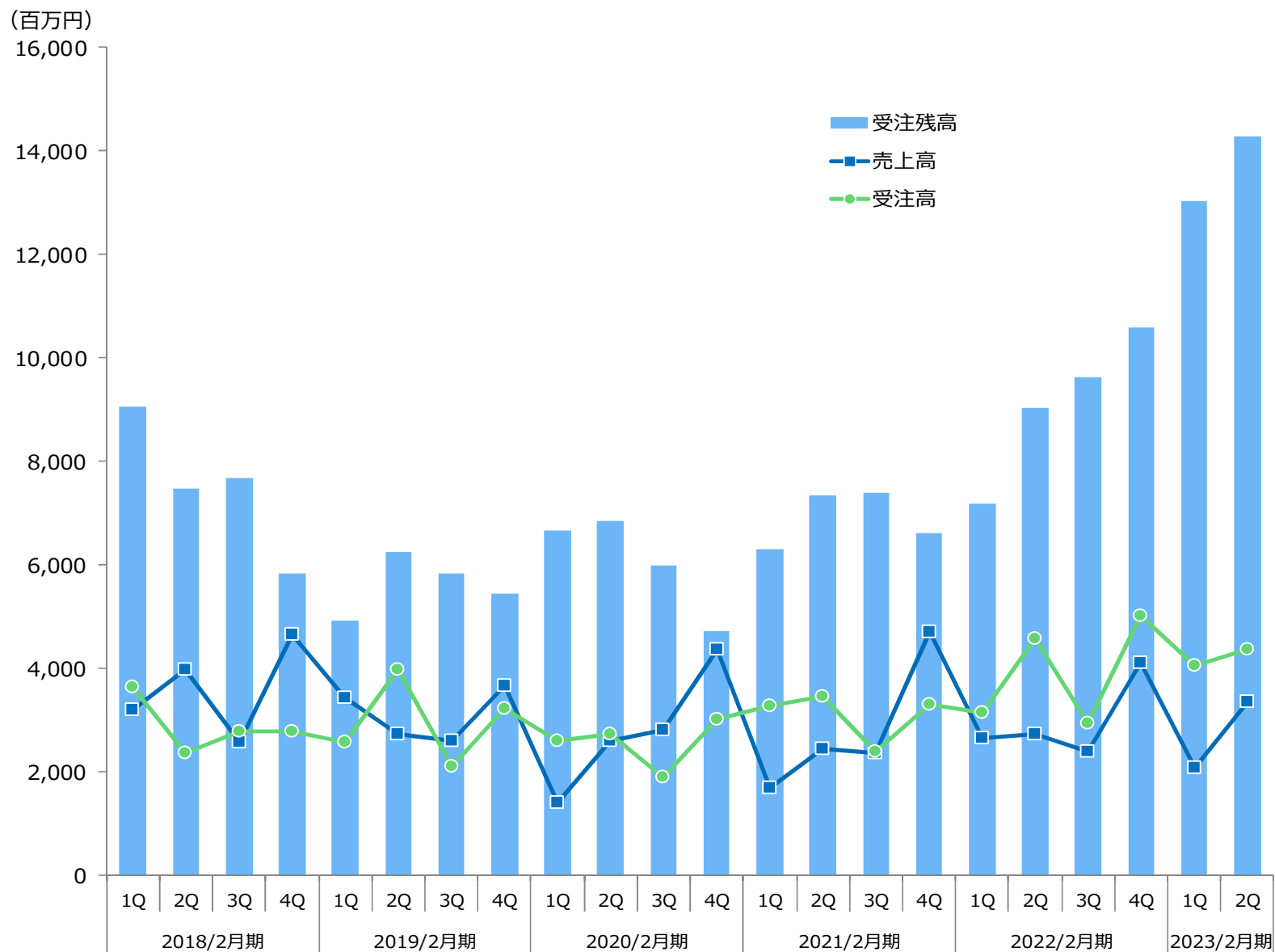
# 機械部門：四半期推移

【売上高】

【営業利益率】



# 機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



## 化成品部門：概況

- 売上高
  - 医薬品添加剤 : 国内、海外向けとも好調に推移、過去最高の売上高となった前年を上回るペースで進捗
  - 食品品質保持剤 : お菓子やネット通販のパン向けの需要増加により好調。過去最高の売上高となった前年を上回るペースで進捗
  - 健康食品 : 大口ユーザーからの受託終了の影響により売上規模縮小
  - 輸出 : 欧州、インド向け販売が好調
- 営業利益 : 増収効果に加え、特に品質保持剤の利益率改善が進み増益

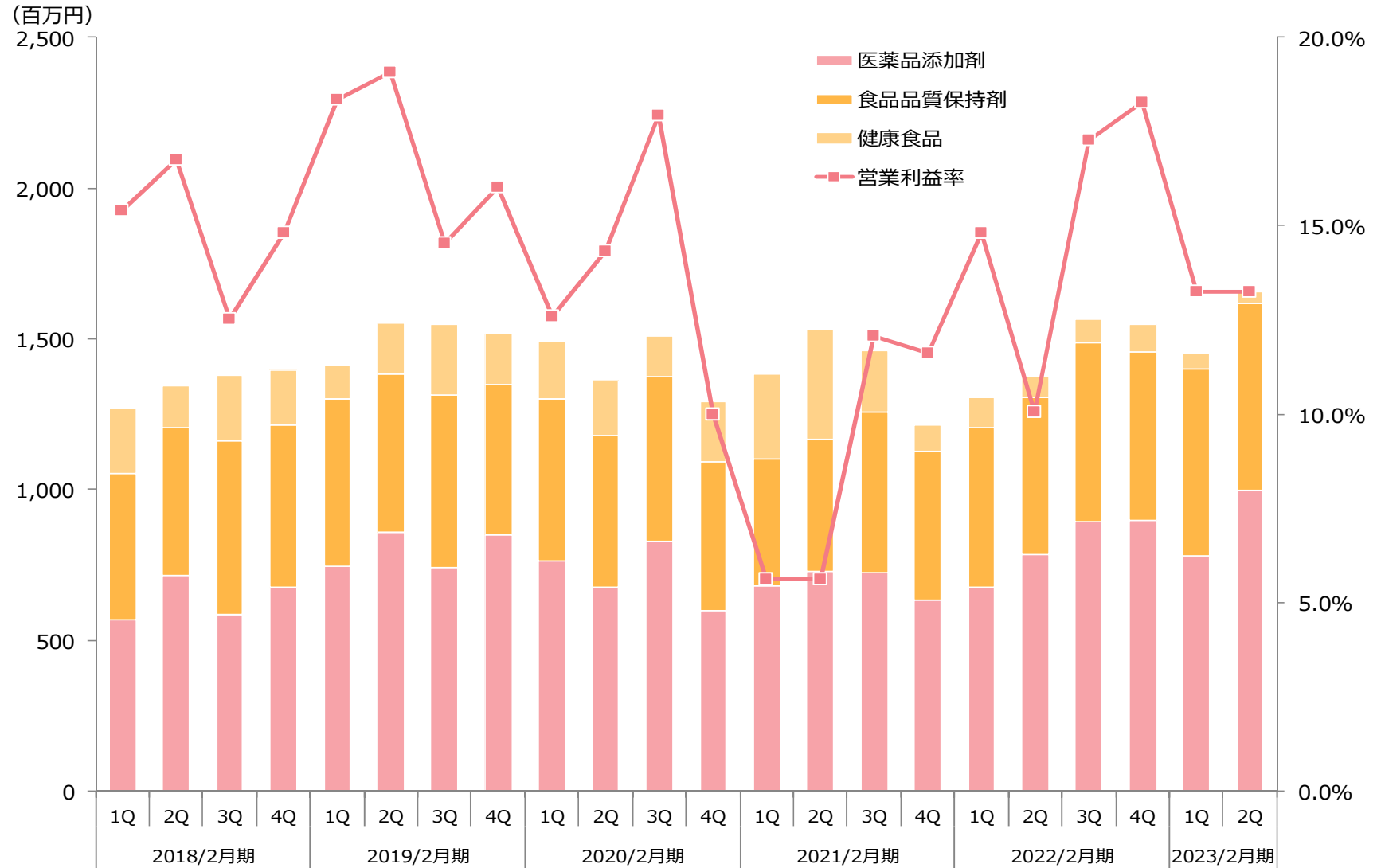
(単位：百万円)	2022/2月期 上半期		2023/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
<b>売上高</b>	<b>2,682</b>	<b>△8.1</b>	<b>3,113</b>	<b>+16.1</b>
医薬品添加剤	1,461	+3.7	1,775	+21.6
食品品質保持剤	1,049	+21.5	1,241	+18.3
健康食品	171	△73.4	96	△43.8
(輸出売上高) ※ 1	123	+18.2	171	+38.5
<b>営業利益</b>	<b>331</b>	<b>+45.2</b>	<b>478</b>	<b>+44.1</b>

※ 1 主な輸出先：欧州・インド・韓国・中国・台湾 等

# 化成品部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

【営業利益率】



## 連結損益計算書サマリー

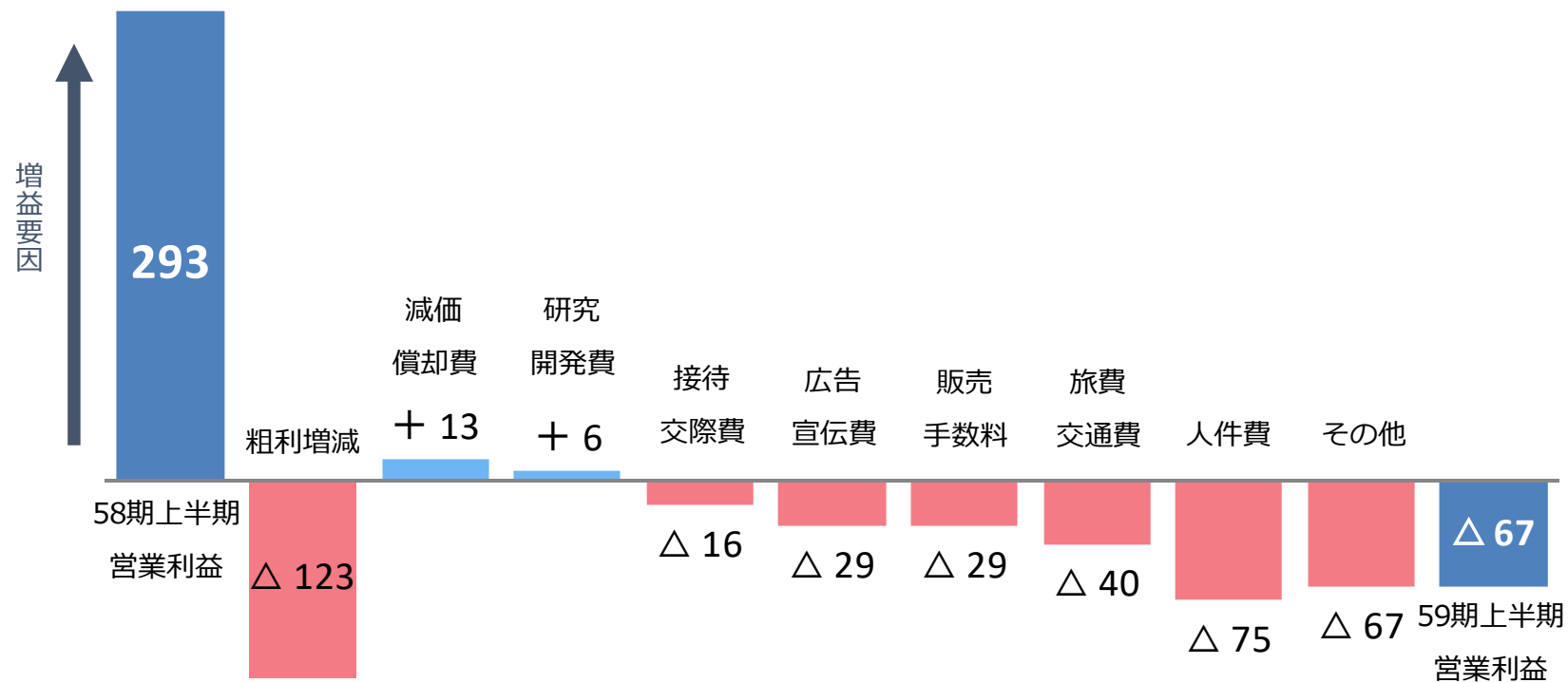
- 国内外とも原材料価格高騰に伴い原価率上昇、粗利益率低下に加え、販管費増加により営業損失計上
- 営業外収益として為替差益95百万円計上し、経常利益は黒字

(単位：百万円)	2022/2月期 上半期		2023/2月期 上半期		前年同期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	8,048	100.0	8,534	100.0	486	+ 6.0
売上原価	5,243	65.2	5,853	68.6	+ 609	+ 11.6
売上総利益	2,804	34.8	2,681	31.4	△ 123	△ 4.4
販管費	2,510	31.2	2,748	32.2	+ 238	+ 9.5
営業利益	293	3.7	△ 67	△ 0.8	△ 361	-
営業外損益	20	0.3	100	1.2	+ 79	+ 383.3
経常利益	314	3.9	32	0.4	△ 282	△ 89.6
特別損益	△ 2	-	8	0.1	+ 10	-
税引前利益	312	3.9	40	0.5	△ 271	△ 86.9
四半期純利益	204	2.5	△ 17	△ 0.2	△ 222	-

## 連結営業利益増減分析

- 原材料価格高騰等による粗利益減少が減益、営業損失計上となった最大の要因
- 販管費は前年同期比238百万円増加。為替円安による円貨換算額の増加と、ウイズコロナ定着に伴う営業活動活発化と人件費増加による営業経費増が主因

(単位：百万円)



## 連結貸借対照表サマリー

- 米国子会社における部材調達の長期化影響による出荷遅延を背景に、棚卸資産および短期借入金増加

(単位：百万円)	2022/2月期	2023/2月期 上半期	増減額
流動資産	15,004	15,296	+291
現金及び預金	4,145	3,638	△506
売上債権	5,228	4,508	△720
棚卸資産	5,090	6,344	+1,254
固定資産	7,269	7,735	+465
有形固定資産	4,562	4,710	+147
無形固定資産	1,434	1,649	+214
投資その他資産	1,271	1,375	+103
資産合計	22,273	23,031	+757
流動負債	7,035	7,450	+414
仕入債務	2,743	2,138	△605
短期借入金	27	990	+963
契約負債（前受金）	2,805	2,962	+156
固定負債	883	886	+3
負債合計	7,919	8,337	+418
純資産合計	14,354	14,694	+339
負債純資産合計	22,273	23,031	+757

## 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

- 棚卸資産の増加を主因とする営業キャッシュフロー、フリーキャッシュフローのマイナスを現預金、借入金で賄う構図

(単位：百万円)	2022/2月期 上半期	2023/2月期 上半期
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>504</b>	△ <b>946</b>
税引前利益	312	40
減価償却費	299	275
売上債権の増減額 (△は増加)	824	884
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 680	△ 717
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 762	△ 674
法人税等の支払額	△ 196	△ 236
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	△ <b>351</b>	△ <b>270</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 310	△ 130
無形固定資産の取得による支出	△ 67	△ 160
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	△ <b>416</b>	<b>541</b>
短期借入金	△ 43	900
配当金の支払額	△ 334	△ 334
現金及び現金同等物 増減額	△ 239	△ 506
現金及び現金同等物 期末残高	4,258	3,638
<b>フリー・キャッシュフロー</b>	<b>153</b>	△ <b>1,217</b>



2023年2月期  
連結業績・配当予想



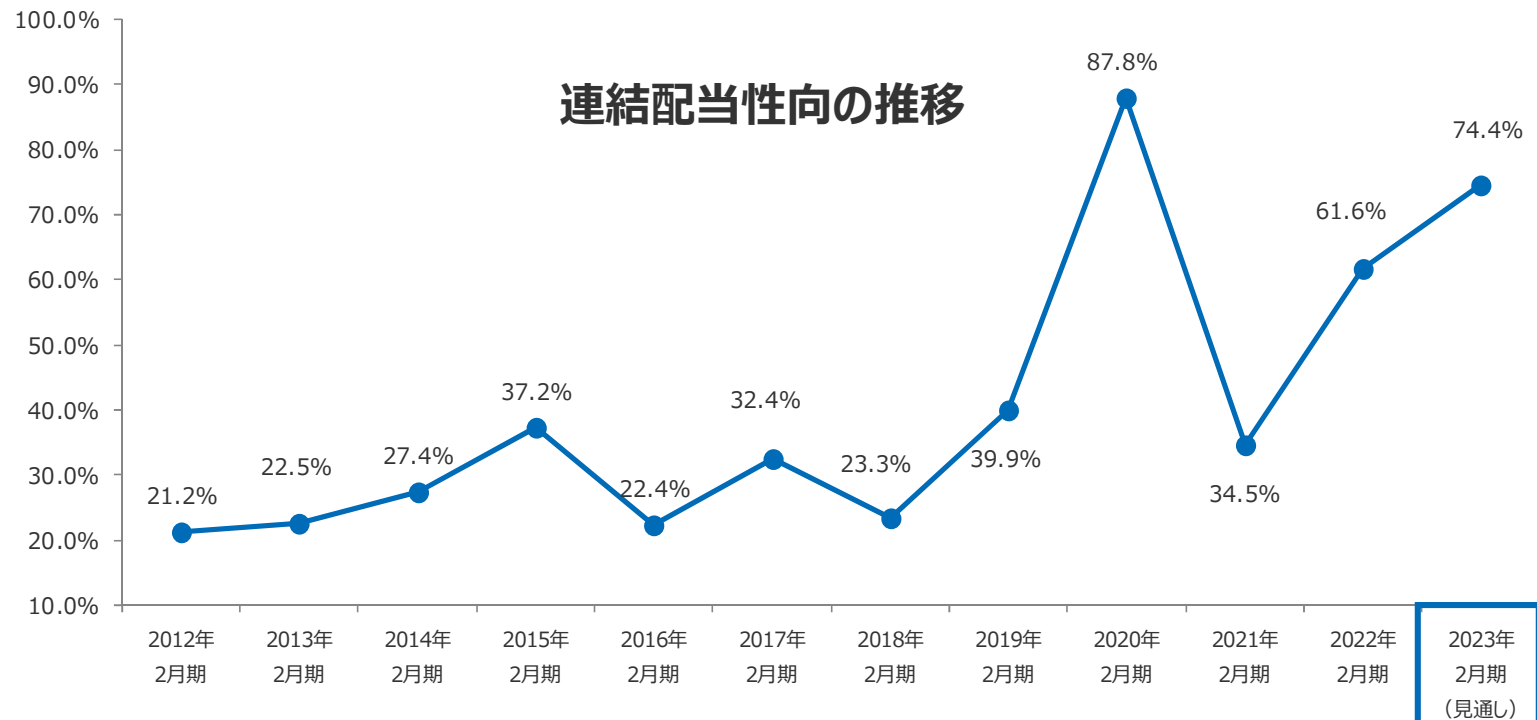
## 連結業績予想サマリー

- 通期業績予想は期初公表値と不変
- 国内も含め部材調達逼迫によるリードタイムの長期化、部材価格の高騰は今後も継続するものと予想される中、下半期は既受注案件の着実なクロージングに注力

(単位：百万円/円)	2022/2月期	2023/2月期	前期比増減	
	(実績)	(予想)	金額	%
売上高	17,632	18,500	+867	+4.9
営業利益	981	700	△281	△28.7
経常利益	1,032	720	△312	△30.3
当期純利益	543	450	△93	△17.2
一株純利益	32.46	26.87	△5.59	△17.2

## 配当予想サマリー

- 2022年2月期は1株当たり20円の実績
- 2023年2月期についても、安定配当維持の観点から1株当たり20円の予想は不変



当期純利益（百万円）	608	765	787	695	961	1,064	1,477	843	381	970	543	450
1株当たり配当金（円）	7.5	10.0	12.5	15.0	12.5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
発行済株式総数（千株）	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400

（注）2009年6月1日付け及び2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。

## (参考資料)

- ・ プロフィール
- ・ セグメント情報

## プロフィール

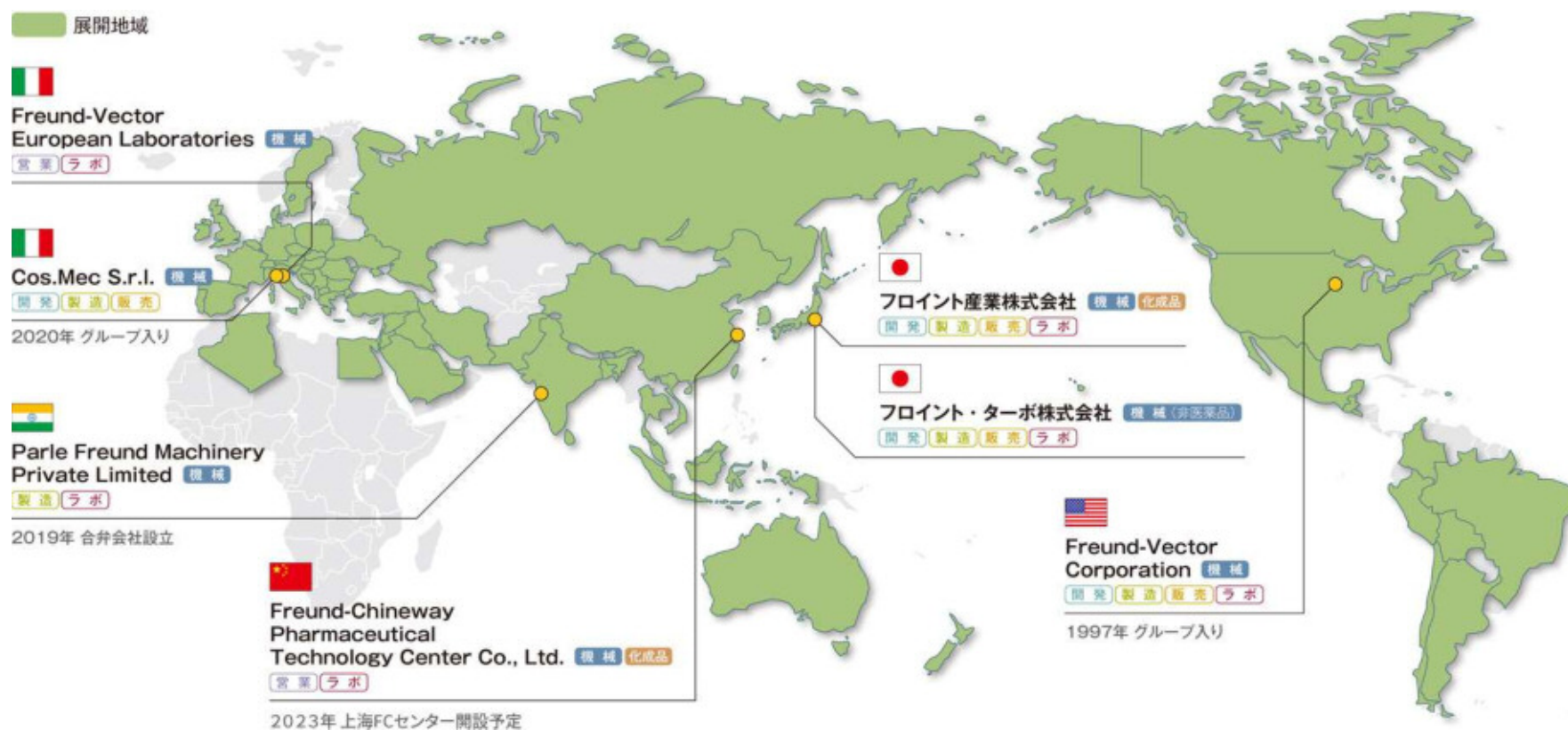
---

- 社名 : フロイント産業株式会社
  - 設立 : 1964年4月
  - 代表者 : 代表取締役社長 伏島 巖
  - 所在地 : 東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
  - 資本金 : 10億3,560万円 (2022年8月末現在)
  - 売上高 : 176億円 (2022年2月期：連結)
  - 従業員 : 482名 (2022年8月末現在：連結)
  - 事業内容 : 機械事業 …… 造粒・コーティング装置等の製造販売  
化成品事業 …… 医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
  - グループ会社 : Freund-Vector Corporation  
フロイント・ターボ株式会社  
Cos.Mec s.r.l.  
Parle Freund Machinery Private Limited  
Freund-Chineway Pharmaceutical Technology Center Co.,Ltd.
-

## フロイントグループのグローバルネットワーク

# 独創的技術でのグローバル化を積極的に推進

グループ価値観『ONE FREUND』のもと、当社グループならではの新たな創造を実現してまいります



# ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

## 1. 機械部門



- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ  
アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速  
世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力

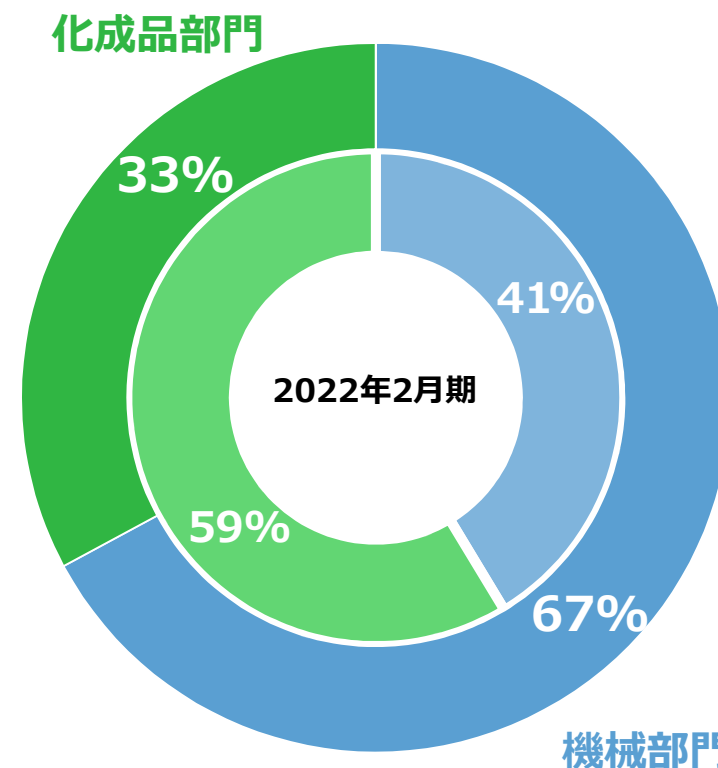
## 2. 化成品部門



- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化

※1 GMP : Good Manufacturing Practice

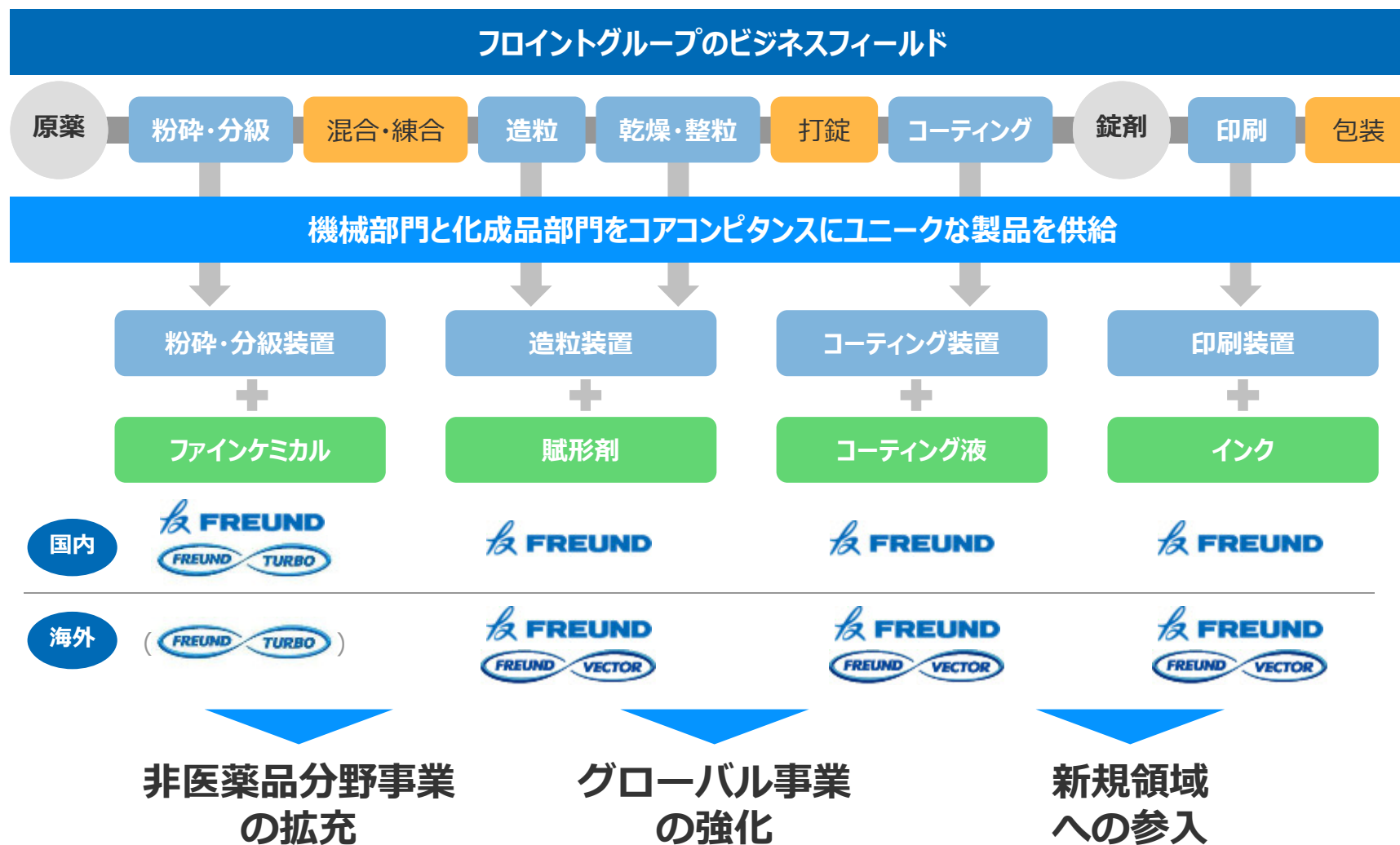
## セグメント別 売上高及び利益構成



2022年2月期  
連結売上高 **176.3**億円  
連結営業利益 **9.8**億円

# グループのビジネスフィールド

- 医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域





# フロントグループ ディスクロージャーポリシー

## 1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的にを行います。

## 2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

## 3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（Timely Disclosure network、以下「TDnet」という）を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

## 4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

## 5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

## 6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

# I R活動の方針

## 株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

### 1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

取締役CFOが統括し、IR担当部署の経営企画本部が担います。

株主の皆様との対話を促進するため、社内の関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

### 2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイト公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<https://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

### 3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

### 4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

---

**〈お問い合わせ先〉**  
フロイント産業株式会社  
経営企画本部 経営企画部・経理部

TEL:03-6890-0767  
FAX:03-6890-0870  
**E-Mail : ir@freund.co.jp**

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。